

第六條 場合ハ出資金額拾圓ニ付キ、管理委員會ハ該會一致ヲ以テ決定スルコトヲ要ス

第七條 本會ハ保管スル現金ハ、管理委員會ハ該會一致ヲ以テ決定スルコトヲ要ス。一、名義人ハ委員長之ニ任ズ。二、印鑑ハ四個ニ分割シ、四名ノ責任委員各一片ヲ保管スルモノトス。三、責任委員ハ管理委員ニ於テ該會一致ヲ以テ選出セラルル事ヲ要ス。四、預金通帳、出資金原簿、出納簿ハ委員長之ヲ保管ス

第八條 本會事務ハ管理委員會ノ選出セル常任委員之ヲ處理スルモノトス

第九條 本會事務ハ管理委員會ノ選出セル常任委員之ヲ處理スルモノトス

第十條 管理委員會ハ關東労働同盟會執行委員會ノ意見ヲ參酌スルコト

第十一條 貸出ヲ受ケタル組合ハ左ノ方法ヲ以テ返還スルモノトス

第十二條 貸出ノ受ケタル組合ハ左ノ方法ヲ以テ返還スルモノトス

附則 本規約ハ昭和二年七月一日ヨリ實施ス

社會民衆黨第五十六議會提出ノ労働組合法案

第一條 労働組合ハ労働條件ノ維持改善其ノ他被僱者ノ共同ノ利益ヲ増進スルノ目的トス。被僱者十名以上ノ團體又ハ其ノ聯合ヲ以テ

第二條 本法ノ適用ヲ受ケントスル労働組合ノ設立者ハ組合規約及ニ役員ノ氏名住所ヲ主ナル事務所在地ノ地方長官ニ届ケ出ヅルコトヲ要ス

第三條 労働組合ノ設立者ハ組合規約ヲ作リ之ニ左ノ事項ヲ記載スベシ

第四條 労働組合ハ執行機關之ヲ召集ス。組合員三分ノ一以上ノ者ヨリ其ノ目的ヲ定メテ召集ノ要求アリタル時執行機關之ヲ召集ス

第五條 労働組合ガ組合員扶助ノ目的ヲ以テ購買組合又ハ購買組合又ハ生産組合ノ事務ヲ營ム場合ニハ産業組合法ヲ適用セズ

第六條 労働組合ニ對シテハ所得稅營業稅ヲ免除シ又ハ組合ト組合員トノ間ノ法律行為ニ關シテハ印紙稅ヲ免除ス

第七條 労働組合ハ労働紛議ニツキ役員其ノ他ノ組合員ガ他人ニ加ヘタル損害ヲ賠償スル責任セズ

第八條 雇主又ハ其ノ事務員ハ労働組合ノ組合員タル故ヲ以テ労働者ヲ解雇シ又ハ雇主ノ申込ヲ拒絶スルコトヲ得ズ

第九條 組合員ハ組合規約ノ違反ニヨリテ組合又ハ組合員ニ及ボシタル損害ヲ賠償スル責任セズ

第十條 労働組合ガ雇主又ハ其ノ團體ト労働協約ヲ締結シタル場合ニハ之ニ反スル組合員ト雇主トノ單獨契約條項ハ無効トス

第十一條 労働組合ハ左ノ事項ニヨリ解散ス

第十二條 労働組合ハ左ノ事項ニヨリ解散ス

第十三條 地方長官労働組合ノ解散ヲナサムスル時ハ地方裁判所ニ出訴スルコトヲ要ス

第十四條 地方長官労働組合ノ規約又ハ決議方法ニ違反スルモノアリト認メタル時ハ警告ヲ發シ若シ應ゼザル場ニハ其ノ取消變更ヲ地方裁判所ニ出訴スルコトヲ要ス

第十五條 第八條ノ規定ニ違反シタル雇主又ハ其ノ事務員ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

附則 本法ハ昭和四年五月一日ヨリ之ヲ施行ス本法施行ノ際現存スル被僱者ノ團體ニシテ本法ノ適用ヲ受ケントスルモノハ本法施行ノ日ヨリ